
大湾区情報 No. 14

グレーターベイエリア情報 発行：2021年6月22日



「大湾区情報」では、日系企業の皆様に有用と考えられる最新情報をいくつかピックアップしお届けします。

【惠州市政府、实体经济の発展促進に向け「製造業 10 か条」を公布】



2021年5月、惠州市政府は「惠州市における製造業の発展促進のための措置」（以下「製造業 10 か条」）を公布しました。「製造業 10 か条」には、10分野における39項目の政策が盛り込まれており、製造業企業の規模拡大、製造プロジェクトの実施におけるインフラ安全保障、工業園区の建設、産業チェーンの強化および補完、技術革新、デジタルトランスフォーメーション、グリーン開

発、国内外マーケットの拡大、人材の確保、サービスの最適化の 10 分野において政府からのサポートが提供されることとなります。

製造業のアップグレードを支援

現地の代表的な企業としては、スマートフォンの EMS で知られている深圳 A 株上場の香港系企業、光弘科技 (DBG) が挙げられます。同社の他にも新興企業や中小企業が進出しており、2020 年「広東省“専精特新”中小企業リスト*」には 133 社の惠州市の製造業企業が含まれており、その企業数は深圳市に次いで広東省で 2 位となっています。

* “専精特新” 中小企業リスト: 専精特新は発展戦略の専一化、製造管理の精巧化、製品サービスの特色化、技術の革新化を意味し、これらの実行・強化により、競争力を高め、長期的発展を実現することを目的として政府から選出された中小企業のリストを指す。

「製造業十か条」では製造企業のアップグレードを 3 つのパターンに分けて奨励しています。一つ目は、製造企業の量と質の向上のために、付加価値成長率、付加価値率と総生産額を一定の基準値へと押し上げるもので、二つ目は、ハイテク技術の導入などを行うことで認定される「新アップグレード」を達成したとみなされる企業への支援を提供するものになります。これらの企業に対して下記に記載している奨励金が支給されます。三つ目は、在惠州の企業体を支店から独立法人への転換の奨励、支援となります。

「製造業十か条」に基づき、惠州市は、工業付加価値の年間成長率が 20%以上、付加価値率はその年の同業種の平均値を超えており、創業からの工業総生産額が初めて 10 億人民元、50 億人民元、100 億人民元に達した製造業の企業に対し、それぞれ 100 万人民元、200 万人民元、300 万人民元の奨励金を支給します。また、初めて「新アップグレード」を達成した企業に対し 20 万人民元の奨励金を支給し、年間生産額が 1 億人民元以上で、翌年の工業付加価値がプラス成長した「新アップグレード」企業には更に 10 万人民元を追加で支給します。

「3+7」で高レベルの工業園区を構築

昨年5月「惠州市工業園区品質改善及び効率化行動計画」（以下「本計画」）が発表されました。本計画では、惠州市工業園区を産業転換、アップグレード、およびイノベーション開発のための先駆的なエリアとし、「2+1」*の近代的な産業クラスターの構築へ支援提供をするために、製造業イノベーション、グリーン開発、ビジネスサービスのための施設を設けるとされてます。

恵東県の惠州新材料産業園では、中国トップレベルの新材料産業基地、大湾区における新材料科学技術革新基地になることを目指しており、また、恵陽区の恵陽（象嶺）智能科学技術園では、「産・市・村・人の融合」をコンセプトに、多くの都市機能を充実させることにより、生活、生産、エコロジーが調和し、1,000億人民元レベルを投資するスマートシティを目指しています。「1,000億人民元の園区、1兆人民元の産業」を目標とし、惠州市は「3+7」**工業園区の構築を進めています。

* 「2+1」：石油化学エネルギー 新素材・電子情報・生命健康産業を指す。

** 「3+7」：惠州市内の3つの国家レベル工業園区及び各7県(区)における1,000億人民元レベルを投資する工業園区を指す。

また、「製造業十か条」では、土地利用計画の70%以上を工業プロジェクトに割り当て、優秀な製造業企業の資本増強、生産拡大を支援し、各管轄区ごとに土地需要を優先的に解決し、解決できない際には、惠州市が解決することを提案しています。同時に、10億人民元以上投資の工業プロジェクト及び、「3+7」工業園区のインフラプロジェクトについては、市内の国有企業から砂や石、コンクリートなどの資材を購入する際に、すべて当日のマーケット価格から5%割引の優遇価格が適用されます。

産業及びサプライ・チェーンの安定性の向上

5月、小米（シャオミ）のサプライチェーン協力マッチングイベントが惠州に行われ、伯恩光学 (BIEL Crystal)、德賽電池(Desay Battery)、碩貝德(Speed Wireless Technology)、比亞迪(BYD)、光弘科技(DBG)、龍旗電子、華顯光電、三華工業(SANHUA)、高盛達、奧士康精密(ASKPCB)など 150 社以上の企業から 180 人が参加しました。当イベントは惠州市で開催される 4 回目のビジネス協力交流会であり、2020 年以降、惠州では、華為(ファーウェイ)、TCL 電子、海康威視 (HIKVISION)、小米（シャオミ）の 4 つの中国トップ企業がビジネスマッチングイベントを開催しており、中小企業がトップ企業のサプライチェーンに参画する多くの機会を生み出しています。

産業チェーン及びサプライチェーンの近代化は、新たな経済システムを構築し、競争力を高めるための重要な手段となっています。「製造業十か条」では、産業プロジェクトの誘致と既存産業の強化により、産業・サプライチェーンの安定性と競争力の向上を図っています。惠州市は、「惠州市大企業による中小企業の共同発展促進措置」を実施し、産業・サプライチェーンのオンライン・オフラインのマッチングプラットフォームを構築し、惠州市の企業が大手企業のサプライシステムに参加することを支援し、産業・サプライチェーンの安定性を高めるよう進めています。

また、製造業企業のイノベーションを促進するために、「製造業十か条」では、基準を満たす製造業重点実験室には 100 万人民元の支援経費を支給し、また同じく基準を満たす新しい研究開発機関には 100 万人民元の奨励金を一度のみ支給することを定めています。

製造業の「デジタル・インテリジェンス化」の推進

惠州市では、より多くの製造企業がスマート製造への転換に目を向けるようになってきました。工業生産のスマート化、デジタル化の実現を加速させるため、恵

州市は各企業の生産効率の改善やエネルギー消費削減を促すべく、「製造業十か条」にて製造業のインターネット、ビッグデータ並びに AI の活用や年間の総合エネルギー消費量の減少に対する奨励金制度を改善し、受給条件の幅を従来より広げることを決めました。

上記以外にも、「製造業十か条」では、国内外市場の拡大、産業人材の開発環境の最適化、および企業サービスの最適化において企業を支援するための一連の支援政策も策定されています。

【江門市地域海洋センターシティ構想】



江門市自然資源局は、江門市はブルーエコノミー（海洋経済）のさらなる発展を重要な課題とし、ブルーエコノミーの発展の可能性をより深く掘り下げ、エコフレンドリーな近代的海洋産業システムを構築し、広東省、香港、マカオで最大の海洋リゾート地、国際的な観光レジャーセンター、大湾区の海洋生物食糧基地、海洋設備の試験基地、大湾区海洋工程の職業教育基地やイノベーションプラ

ットフォームの設立を計画しており、地域の海洋センターシティになることを目標とするとしています。

江門市新会区では、船舶・海洋工学機器産業チェーンの発展に力を入れ、ハイエンドのヨット、海洋工程作業船、補助船の大手企業および主要部品メーカーの誘致を進め、船舶解体材の再加工及びリサイクル促進を推し進めることを提案しています。

海に生きる：「海のシルクロード」からの出発、江門ゲートウェイ化計画

江門市は、古くは地名を「邑」といい、古代～明清時代には「海のシルクロード」の交易拠点、中継点の一つとして栄え、陶器のかけらなどが上川島の遺跡から発掘されています。また、同市管轄内の新会、台山、開平、恩平は「四邑」（または鶴山を入れて「五邑」）と呼ばれ、「華僑」のふるさととしても有名です。

江門市は、今日において、臨港設備製造、海洋観光、電力、海洋造船、海洋漁業、海洋交通輸送産業を中心とした近代的な海洋産業システムを形成しています。その中でも、銀洲湖と広海湾沿岸のポートエリアには、1万トン級船舶の運用バース（船舶係留施設）6つを含む、計226の運用バースが建造されており、江門のブルーエコノミー発展において最もダイナミックでポテンシャルがある二大地区となっています。

江門市自然資源局によれば、近年、江門市のブルーエコノミーの総額は着実に増加しており、現在は市のGDPの約15%を占めており、2020年のブルーエコノミーの産業総額は1,379.26億人民元に達すると予想されています。

海の魅力：地域観光の新たな青写真を描く

江門市台山では、国家レベルの観光デモンストレーション地区の創設を推し進めており、また世界遺産にも認定されている開平の楼閣と村落の文化観光ゾーンは、国家 5A レベルの観光スポットとして高い評価を受けています。

台山市広海鎮では、エコツーリズムを重視した森の町の構築を出発点として、海のシルクロード遺跡公園の建設プロジェクトを中心に、海永無波公園文化地区の活性化、菩提古樹公園のリニューアル工事などが行われています。また、海岸線の生態回復プロジェクトの実施、「海のシルクロード」の世界遺産申請を始め、海のシルクロード文化基地の建設を進めており、遺跡公園のほか、靈湖寺仏教文化センター、漁港漁業文化レジャーリゾートなどのコア観光・文化プロジェクトの建設に力を入れ、広海鎮の観光地としての知名度を高めています。

豊かな海、海岸線、島などの資源は江門市の海浜ツーリズムの発展にとって良い基盤となっています。江門自然資源局によると、「第 14 次五カ年計画」期間中において、江門は全域の観光と全産業チェーンの観光コンセプトを出発点とし、陸と海の観光資源の統合を強化し、陸と海がリンクする観光ルートを作りだして、生態系、レジャー、健康といった方面において、大湾区における一大海浜観光地、国際的な島嶼観光エリアとなることを目指していきます。

プロジェクトがリード：陸海連携し「ブルーエコノミー」に注力

2021 年 4 月末、江門、マカオのマッチングイベントにおいて、「銀湖湾マカオ国際健康港プロジェクト」が発表されました。当プロジェクトは、銀湖湾海浜新区に位置し、総投資額は 21 億人民元を予定しており、AI テクノロジーインキュベーターを中心に、人工知能、ビッグデータ、医療とヘルスケアの統合など、最先端の科学とイノベーション産業を対象としたビジネス・インキュベーション、研究成果のトランスフォーメーション・センター、及びレクリエーション・ヘルスケアへの応用のデモンストレーション・センターの設立が含まれてい

ます。

上記のほか、同じく海新区では「新会マカオ重要技術設備革新創業園」、「碧海銀湖文化観光プロジェクト」など数多くの重要プロジェクトが導入されています。

江門市発展改革局は、銀湖湾海浜新區を都市の副都心と位置づけ計画・建設を行う一方、対外開放、対外協力のための新たなメイン地区を構築することを計画し、先進的製造業、エコ新材料、臨港産業、新興海洋産業などの方向性に焦点を当て、ブルーエコノミーの特徴を持つ近代的な産業システムの構築に力を入れていくと述べています。

江門市東部では、西江黄金水道の河口に位置する銀洲湖地区のポートターミナルで、5,000トン級船舶のバース16つ（うち6つは1万トン以上）の建設が完了しており、更なる銀洲湖港湾産業区の形成を推進しています。

西部では、大広海湾が、珠江河口西岸地区の臨港先進製造業基地となることを目指しており、10万トン級船舶のバース1つ、5万トン級船舶のバース2つの建設が完了、1万トン級船舶のオペレーションエリア埠頭が建設中となっており、港湾物流、保税倉庫の建設を計画し、原油、精製油、LNGなどのエネルギー商品のバルク取引市場と配送拠点の建設に努めており、またクリーンエネルギーシステム構築にも注力しています。

国家の持続可能な開発パイロットゾーン、中国の船舶解体基地、製紙産業基地として、銀洲湖エリアは、新会港国際貨物ターミナル株式会社(Guangdong Xinhui Port International Freight Terminals Co., Ltd.)、双水拆船、双水発電所、亞太森博紙業(ASIA SYMBOL：シンガポール系)、華泰紙業、南洋船舶など大企業の進出先第一候補となっています。

【参考資料】

- [惠州市政府、実体経済の発展促進に向け「製造業 10 か条」を公布](#)
- [江門市地域海洋センターシティ構想](#)